

2012年の仮説実験授業 夏の大会を群馬で!

伊香保温泉「ホテル天坊」 にてお待ちしております。

7月31日(火)・8月1日(水)・8月2日(木)の3日間

群馬県 渡良瀬サークル 品川 正

来年の夏の大会を群馬の伊香保温泉でやりませんか。群馬の渡良瀬サークルのメンバーを中心に話がすすんでいます。今年の3月11には東日本で大変大きな地震があり、津波や原子力発電所の事故などで多数の方々が被災されました。今でもたくさんの人たちがその影響を受けながら一生懸命に頑張っています。こんな時だからこそ、〈東日本で夏の大会をやることに意義があるのではないか〉と思っています。私たちが立候補を決意したときにはもちろん「こんなことが起きるなんて予想もしていませんでした」が、今となってはこの事態をどのように前向きに受け止めるのかが課題です。「どちらに転んでもシメタ」という発想をフルに使ってシメタはないか探していきたいと思います。地震の起きた場所からは少し離れていて大きな揺れはあったものの群馬県はそれほどの被害はありませんでした。

多くのスタッフで群馬の夏の大会を成功させたいと思いますので、皆さんの力をお貸し下さい。

日程 7月31日・8月1日2日(2泊3日)

大会は7月31日午後1:00～

8月2日の午前まで

決定すれば、全力で良い大会になるよう頑張ります。
よろしくお願ひします!!

※研究しやすい会場、じっくり研究できる環境を提供します。

ベテランは落ち着いた雰囲気動き、若者はエネルギッシュに動きます。

群馬県からきました品川正です。群馬県というとみなさん、何を思い浮かべますか。群馬県は温泉がたくさんあるところですよ。草津温泉や水上温泉。水上温泉といえば、2003年の冬の大会 水上大会を思い浮かべる人も何人かはいと思います。参加した人は思い出すとありますが、あの雪の中での群馬水上大会は知る人ぞ知るといって多くの人からも「よかったよ」といって頂きました。もっともどの大会もほとんどそうしてもらえているとは思いますが、……。そのときに中心になってやったのが群馬県の渡良瀬サークルでした。

その後4年前にやった北海道の大会で京都に僅差で敗れてしまい、4年ぶりに体制を整えての立候補です。よろしくお願ひします。その後様々なことがあり、今では、東京・長野・新潟・栃木・茨城など関東近県の各本面から信頼を集め、「よし、やるぞ。」という気持ちになって再度挑戦することになりました。

さて東日本の震災を経て「自分にできることは何か」を考え続けてきました。自分にできること、それは仮説実験授業をすること、また仮説実験授業の研究会に参加すること、そして今回のように会を主催すること。だから今回、立候補を考えました。東日本の震災も今現在、様々な問題がありますが、まずは自分や自分の身近な人が元気になることが一番。一度群馬県に来てください。やる気はあります。やる気はどこにも負けません。

具体的にどんな会にしたいのかをいろいろサークルで相談しています。いろいろなアイデアが出ています。「研究的な会をしたいね。」「みんなが気持ちよくなるような動きをしたい。」など出ています。ただ、仮説の会は参加者が自分の思い出どンドン動いていくので参加者の思いで会は作られていくと思います。

ただ私がやりたいことは、仮説実験授業研究会の活動は500年1000年とつながっていくと思うので500年後にこの会を調べたときにすぐに必要なことが分かるようなガリ本作りをしたり500年後の人を意識した活動をしたいと思っています。世界の教育を考えて500年後の仮説実験授業を意識した会の運営をできたらいいなと思っています。すでに数年前に竹内社長からアイデアを頂いて「そうか、そういうことが大切なのか」という発見も生かしていきたいと思っています。

何はともあれ、仮説実験授業研究会はまだまだ東日本での開催が少ないので、今回は九州でしたが今度は東日本での開催になるようお願ひします。

最後のなりますが、群馬県でも若い教師が仮説実験授業に入ってくるのが少しずつですが出てきています。今回は3人の若い先生がここまできています。ちょっと立ってみてください。こんな若い先生方と一緒に取り組んでいくつもりですので、是非群馬県にあなたの貴重な手をあげてください。よろしくお願ひします。